

沖縄水道水源開発等施設整備事業 （水道広域化施設整備事業）

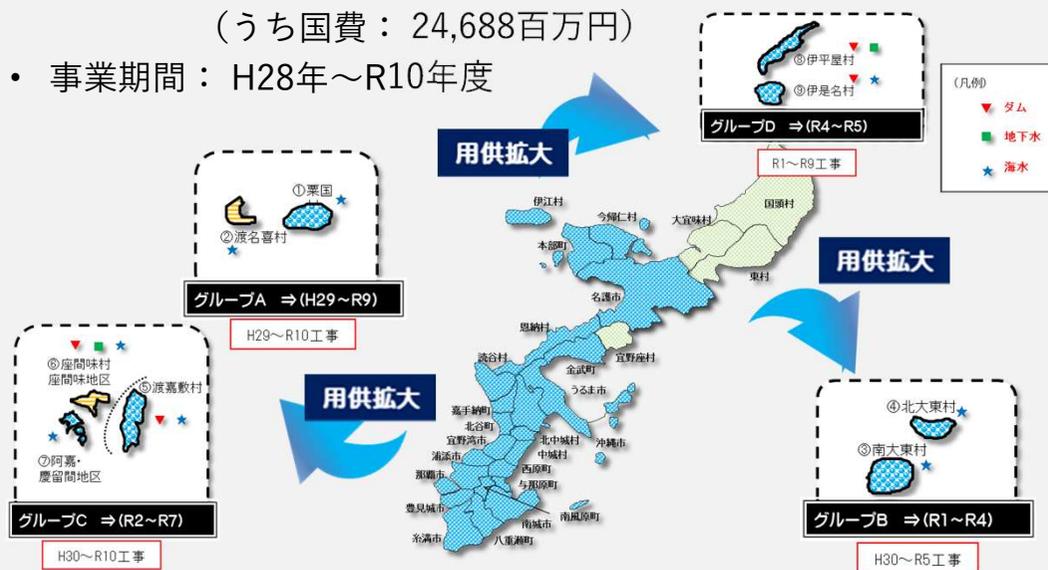
事業目的

沖縄本島周辺離島8村の簡易水道は、水源水質の悪化や制限給水の実施、水道料金の高騰など、多くの課題が顕在化しており、水道サービス(質、量、料金など)において沖縄本島との地域間格差が大きな課題となっている。

県が推進する「離島の定住条件の整備」の観点から、水道広域化(水道用水供給事業の拡大による方法)により、これらの課題解消を図るため、安定的な水源確保が困難な島々への海水淡水化施設の導入や、水源水質の悪化に対応可能な浄水処理施設の整備等が必要である。

事業概要

- 事業主体： 沖縄県
- 事業内容： 浄水施設整備、送水施設整備
- 総事業費： 31,000百万円
（うち国費： 24,688百万円）
- 事業期間： H28年～R10年度



沖縄水道水源開発等施設整備事業 （石川～上間送水管布設事業）

事業目的

石川～上間送水管は、基幹浄水場である石川浄水場で処理した浄水を中南部地域へ送水する施設である。

既設の管は本土復帰前の昭和40年代に布設され、老朽化している。また、耐震性を有していないことや、現在の管径では将来の水需要に対応できないことから、早急に更新する必要がある。

本事業の完成により中南部地域への安定供給が可能となる。

事業概要

- 事業主体： 沖縄県
- 事業内容： 送水施設整備
- 総事業費： 38,205百万円
（うち国費： 28,654百万円）
- 事業期間： H25年～R12年度



既設管の老朽化状況
（漏水発生状況）



➤整備から60年近く経過し、老朽化に加えて耐震性を有していない

耐震管の布設状況
（耐震性の向上）



➤石川浄水場（うるま市）から上間調整池（那覇市）までの基幹管路（管径φ1350mm）